

〈2学年〉

①運動やスポーツが体にあたえる効果

オリンピックと自分の体を比較し、健康に生活するための体力、運動やスポーツを行うための体力があることに目を向ける。そして、健康において運動が必要なものであることを学ぶ。

②運動やスポーツが心にあたえる効果

競技会の映像などを見ながら、オリンピックがどのように力を発揮しているのか、主に感情のコントロールに注目する。それによって、心と体の関係性について学ぶ。また、パラリンピックにおけるルールの変更などに目を向け、より多くの仲間と楽しめる工夫について学ぶ。

③平野真理子氏・加藤耕也選手を招聘しての講演会

下記参照

④安全な運動やスポーツの行い方

競技会中に起こりうる傷害や事故について考え、その対処などについて、どのような工夫がされているかを学ぶ。そして、体育の授業で各競技の試合を実施する際の注意点について考える。

〈3学年〉

①現代生活におけるスポーツの文化的意義

生涯スポーツの考えを元に、今後の生活の中でどのようなスポーツが整ったら、継続して運動をすることができるかを検討していくことで、スポーツの文化的意義について考える。

②国際的なスポーツ大会の文化的な役割

過去に行われた1964年東京オリンピックや1998年長野オリンピックの価値について触れ、2020年に開催される東京オリンピックにはどのような価値があるのかを調べる。その活動を通して、文化交流としての価値などについて学ぶ。

③平野真理子氏・加藤耕也選手を招聘しての講演会

下記参照

④人々を結びつけるスポーツの文化的なはたらき

オリンピックやパラリンピックを含め、過去のスポーツ活動において、どのような文化交流が進められてきたいのかを調べ、まとめることで、スポーツが人と人をつないでいくことの価値について学ぶ。

〈平野真理子氏・加藤耕也選手講演会について〉

【講演内容】

挑戦することの大切さとオリンピック・パラリンピックの魅力

【当日スケジュール】

11:00～12:30 事前打ち合わせ

12:30～14:00 授業の様子参観（生徒の実態確認）

14:00～16:00 体育館での講演会

16:10～17:00 座談会（保護者・教員）

6 主な成果

（1）体育理論の学習の中核に講演会を置いたことで、オリンピック・パラリンピックへの興味関心が高まり、学習への意欲が増した。講演会直後に学活で卓球を行う学級が複数あり、卓球への興味が増したことも見て取れた。また、道徳で平野選手を題材にしたりするなど、「ねらい」としていなかった面からも深まりを持てた。

	<p>(2) 年齢の近い平野選手がリオ・オリンピック後に感じた悔しさから「意識」を変えたという話を、真理子氏から聞くことで夢に向かって真剣に取り組むことの大切さ、また、加藤選手のプレー話を聞くことから努力することの格好良さを学ぶことができた。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・私には、将来の夢があります。平野美宇さんや加藤耕也さんのような世界規模ではないですが、今日学んだことを胸に、日々頑張っていこうと思います。 ・加藤選手は障害をもちながら卓球に励んでいてカッコよかったです。 <p style="text-align: right;">(生徒の感想より)</p> </div>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体育理論の中核に講演会を置き、オリンピック・パラリンピックについて講演会前に学習しておくこと効果的なことや、講演会後に深められることを念頭に置き授業計画を行った。 ・講演会では、生徒参加型のスタイルを取り事前アンケートや質疑をもとに会を進めた。また、会の冒頭では加藤選手のサーブを受けたり、ラリーをしたりするなどして、選手の力を実感できる場面をつくった。 ・体育理論の授業を始めるにあたって、生徒たちの興味関心を高めるために「オリンピック・パラリンピック関連図書」のコーナーを設置した。 
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・講師との打合せが難しく、直前になってから購入物品の依頼を出すことになってしまった。 ・図書購入の依頼が遅くなり、必要と考えていたタイミングで手元に揃えることができなかった。そのため、本校の図書予算から学校用図書として6冊購入した。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年、体育理論で継続してオリンピック・パラリンピックとの関連性を意識しながら学習を深めていく。 ・今年度同様、オリンピック・パラリンピックと関係の深い人物を招聘してキャリア教育講演会を実施したい。